

平成28年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者の決定

平成28年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者が、平成29年 3 月17日の理事会において下記のとおり決定いたしました。
なお、優秀賞は 6 月 9 日の第59回通常総会で授与いたします。

【「地盤工学会誌」年間最優秀賞】(敬称略)

受賞業績名／業績発表文献	受 賞 者 名
「液状化予測法の未だホットな課題」／平成28年 8 月号掲載（総説）	國生剛治（中央大学名誉教授）
●授賞理由：液状化予測技術における最近の動向や課題をまとめ、現状の問題点、今後解決すべき課題について平易に記述されており、総説としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	

【「地盤工学会誌」優秀賞】

受賞業績名／業績発表文献	受 賞 者 名
「近年の地下水に関する課題」／平成28年 2 月号掲載（総説）	西垣 誠（岡山大学名誉教授）
●授賞理由：「地下水問題の最前線」という特集の総説で、広域的な地下水問題や、対策技術、今後開発が必要とされる技術などについて平易に記述されており、総説としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	
「杭の支持層確認方法の現状と今後」／平成28年 5 月号掲載（論説）	青木一二三（㈱レールウェイエンジニアリング）
●授賞理由：筆者の長年の経験に基づき、打ち込み工法以外の杭の支持層確認方法の現状について紹介するとともに、今後の展望についてまとめたもので、実務的な有用性が高いと評価され、多くの読者に支持されました。	

(注：受賞者の所属は掲載当時)